

雪やなぎ

令和5年9月発行

105号



理念

一人ひとりの立場で考え、
共に生きる豊かな社会を目指す

基本指針

- ・利用者に対して「サービスの質の向上」をはかります。
- ・地域社会に対して「地域包括ケア」の中心的な役割を担います。
- ・福祉専門職員として資質向上をはかります。
- ・透明性のある組織体制を強化します。



発行／社会福祉法人大野福祉会

発行責任者 柴山佳樹

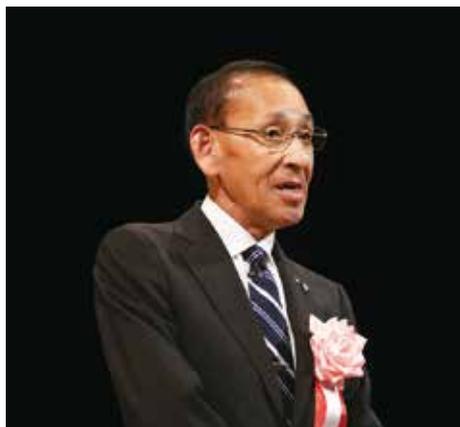
〒912-0061 大野市篠座17-23
TEL(0779)66-3320 FAX(0779)66-3319
<https://oonofukushikai.jp>



木間理事長、日本知的障害者福祉協会「会長賞」を受賞

令和5年7月13日(木) 東京国際フォーラムにて開催されました令和5年度全国知的障害関係施設長等会議において、当法人の木間理事長が日本知的障害者福祉協会「会長賞」を受賞いたしました。

今年度の受賞者は、永年知的障害者の福祉に献身して顕著な功績をあげられた関係者に贈られる「愛護福祉賞」に1名、永年地域において知的障害福祉の発展に貢献された関係者に贈られる「会長賞」に2名でした。
受賞記念として会長賞の賞状と石井亮一先生の楯が贈呈されました。



実習2年目移行前に、初級技能評価試験を4月に名古屋会場
で受け、筆記と実技の試験に見事合格しました。

初めて聞く調理に関する言葉を勉強し、実技では問題集を制限時間内で出来るよう調理員と一緒に練習してきました。

当日は試験監督がいる中で緊張したと思いますが、終わった後の3人の顔はやり遂げた感で晴れ晴れしていました。

これから実習内容がより深くなりますが、職員全員で応援していきたいと思っています。



初級技能評価試験に合格しました。

花火

今年も大野福祉会で打上げ花火を実施しました。コロナ感染対策で制限がある生活の中、天気にも恵まれ、たくさんの方の笑顔が溢れる楽しい1日になりました。

今回はおやつにバニラアイスを用意していました。とても食べ応えがあり、皆さん口いっぱい頬張りながら、美味しそうに食べられていました。蒸し暑さをアイスの冷たさで吹き飛ばし、職員付き添いのもと夜道に気を付けて会場へと向かいました。

会場に着くと皆さん、今か今かと待

ち構え、待ちに待った花火が打ちあがると、「きれい〜」、「わあ〜」と言った歓声や拍手が至る所で見られました。初めは花火の音に怖がっていた利用者の方も色とりどりの花火に見入るようになっていました。花火のようなキラキラとした笑顔を見ることができて、職員にとっても思い出に残る大成功の行事になりました。

今回もたくさんの方々のご協力により、無事に花火大会を執り行うことができました。ご協力ありがとうございました。



大野荘



福祉
ふれあい
まつり

6月3日に結とびあの多目的ホールで第35回福祉ふれあいまつりが行われ、なごみ班で作成した貼り絵や習字、編み物や絵手紙など、利用者の皆さん一人一人が丁寧に仕上げて下さった物を飾りたいと伝えると「恥ずかしいな」と照れながらもみなさん了承して下さいました。写真は、班活動で行ったドライブやおやつ会などの笑顔いっぱいの写真を飾りました。

クラブ活動



編み物教室は、大谷講師のご指導の下、ペットボトルのキャップ開けを作り、病院に寄付しました。
今年度から、カルチャークラブには、岩治講師が来てくださっています。お茶の作法を学びながら、楽しく美味しくお茶を頂いています。
絵手紙教室では、各自文化祭やアール・ブリュット展に向けて、作品を描いています。

コロナ感染対策により、開催延期が続いていた編み物教室、カルチャークラブ（お茶会）絵手紙教室が令和5年度から再開しました。

むつみ園

小山小学校の運動会に参加して



5月31日に交流のある小山小学校の運動会にご招待していただき、利用者7名と職員2名が参加しました。

1、2年生と一緒に紅白に分かれ玉入れに参加し、児童の元気と笑顔に圧倒されましたが、参加した利用者の皆さんはとても楽しんでいました。利用者の方の中には、カメラが趣味の方もおり、運動会の様子をたくさん撮っていました。久々の交流行事で児童の笑顔にとっても癒されました。

福祉ふれあいまつり

6月3日、結とぴあで第35回福祉ふれあいまつりが行われ、むつみ園も展示しました。アール・ブリュット展で入賞した作品やインタビューの展示、昨年はパフエブくりをしたり、キッチンカーを利用し、外でクレープ等を食べた事も紹介しました。

利用者の皆さんに観てもらおう為、展示物は訓練棟の一部を展示してあります。皆さん、写真に興味津々で楽しかった事を思い出してもらっていると嬉しいです。また今年も楽しいことが沢山できると良いなと思います。



よもやま



7月に利用者交流レクリエーション大会ベタンク競技に参加して、楽しい時間を過ごしました。

参加した利用者の皆さんは、皆でワイワイ楽しそうに投げ方や力加減を工夫しながら、目標の円に向かってボールを投げていました。

結果はまさか!!見事リーグで全勝して優勝しました。

ペタンクに参加しました



大野荘 福祉サービス第三者評価受審

令和4年度に第4回目となる福祉サービス第三者評価を受審しました。評価対象は①福祉サービスの基本方針と組織（9項目） ②組織の運営管理（18項目） ③適切な福祉サービスの実施（18項目） ④救護施設固有のサービス（18項目）の全63項目の評価をしていただきました。評価結果については、以下のとおりです。今後も定期的に見直しを行い、さらにより良い福祉サービスの提供に努めていきたいと思えます。

総合評価

58

5

■ A評価 ■ B評価

① 福祉サービスの基本方針と組織

7

2

理念・基本方針、経営状況の把握、事業計画の策定については概ね良好であり、特に事業計画の策定に当たっては中長期計画に基づいた具体的内容が明記され職員会議での周知や利用者にわかりやすく説明している。

評価結果について分析結果や課題が職員間で共有が図られているが、受審後の改善に向けた取組がなされていないので、年1回以上の自己評価の実施と組織として改善の確認や取組を計画的に行うことが望まれる。

② 組織の運営管理

15

3

管理者の責任とリーダーシップ、地域との交流、地域貢献については関係機関と連携し地域福祉ニーズの把握を行い、緊急一時受入事業などを独自に行っている。

異動に関する人事基準が定められていないので明確にするよう望みたい。

研修計画に基づく職員の教育・研修を実施し復命書の回覧や報告会を行っているが、研修計画や内容、カリキュラムの評価や見直しが行われていない。

財務の助言だけでなく、事業についても外部の専門家（公認会計士等）による監査支援等が望まれる。

③ 適切な福祉サービスの実施

18

施設利用に際してのサービス内容、日常生活上の留意事項についての「施設利用時における説明マニュアル（写真やイラスト）」を活用し、利用者からの主訴や要望等を把握している。

利用者が退所する際には、入退所委員会、居宅生活訓練担当、相談支援事業者を含め地域移行に向けた支援を行っている。

④ 救護施設固有のサービス

18

支援の基本は利用者の自己決定を尊重した個別支援計画をもとに安全・安心な利用者支援を心掛け支援している。また、利用者の心身の状況に応じた居宅生活訓練や理学療法士による機能訓練や医療的な支援を行っている。

救護施設独自の居宅生活訓練事業による自立に向けた取組の他緊急一時入所やふく福くらしサポート事業を実施し地域の生活困窮者支援も行っている。

令和4年度 決算報告

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目		決算			
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	9,906,153		
		障害福祉サービス等事業収入	222,197,855		
		生活保護事業収入	339,416,571		
		法人運営事業収入	156,351		
		経常経費寄附金収入	3,550,000		
		受取利息配当金収入	6,178		
		その他の収入	2,920,151		
		事業活動収入計(1)	578,153,259		
		事業活動による支出	支出	人件費支出	359,878,209
				事業費支出	130,154,950
事務費支出	131,067,920				
就労支援事業支出	10,238,169				
支払利息支出	471,170				
その他の支出	660				
事業活動支出計(2)	631,811,078				
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△ 53,657,819				
施設整備等による収支	収入			設備資金借入金収入	50,000,000
				固定資産売却収入	150,000
		施設整備等収入計(4)	50,150,000		
		支出	設備資金借入金元金償還支出	3,262,000	
			固定資産取得支出	103,493,170	
			ファイナンス・リース債務の返済支出	1,339,800	
施設整備等支出計(5)	108,094,970				
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 57,944,970				
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	127,224,120		
		その他の活動による収入計(7)	127,224,120		
		支出	積立資産支出	3,452,416	
			その他の活動支出計(8)	3,452,416	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	123,771,704				
予備費支出(10)	-				
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	12,168,915				
前期末支払資金残高(12)	335,499,112				
当期末支払資金残高(11) + (12)	347,668,027				

事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目		決算			
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	9,906,153		
		障害福祉サービス等事業収益	222,197,855		
		生活保護事業収益	339,416,571		
		その他の事業収益	-		
		その他の収益	156,351		
		経常経費寄附金収益	3,550,000		
		サービス活動収益計(1)	575,226,930		
		サービス活動増減の部	費用	人件費	361,980,505
				事業費	130,154,950
				事務費	131,067,920
就労支援事業費用	11,918,502				
減価償却費	75,135,929				
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 30,283,838				
サービス活動費用計(2)	679,973,968				
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 104,747,038				
サービス活動増減の部	収益			受取利息配当金収益	6,178
				その他のサービス活動外収益	2,920,151
		サービス活動外収益計(4)	2,926,329		
		費用	支払利息	471,170	
			その他のサービス活動外費用	660	
			サービス活動外費用計(5)	471,830	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	2,454,499				
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 102,292,539				
特別増減の部	収益	固定資産売却益	150,000		
		特別収益計(8)	150,000		
		費用	固定資産売却損・処分損	106,302	
			国庫補助金等特別積立金積立額	-	
特別費用計(9)	106,302				
特別増減差額(10) = (8) - (9)	43,698				
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 102,248,841				
増減差額の部	繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(12)	694,276,403		
		当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	592,027,562		
		基本金取崩額(14)	-		
		その他の積立金取崩額(15)	127,065,000		
		その他の積立金積立額(16)	1,000,000		
		次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	718,092,562		

貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
勘定科目	当年度末
流動資産	376,407,338
現金預金	326,084,915
事業未収金	48,068,599
未収補助金	2,000,000
商品・製品	147,586
原材料	106,238
固定資産	1,948,753,231
基本財産	1,085,863,344
土地	26,797,404
建物	1,059,065,940
その他の固定資産	862,889,887
建物	20,213,726
構築物	11,370,983
車輛運搬具	2,078,746
器具及び備品	77,588,713
建物付属設備	137,281,016
借地権	8,173,400
ソフトウェア	273,042
無形リース資産	3,672,900
退職給付引当資産	26,842,952
人件費積立資産	120,250,000
施設整備積立資産	444,915,493
工賃変動積立資産	216,110
設備整備積立資産	609,208
建設積立資産	9,403,598
資産の部合計	2,325,160,569

負債の部	
勘定科目	当年度末
流動負債	55,010,287
事業未払金	27,993,109
1年以内返済予定設備資金借入金	9,960,000
1年以内返済予定リース債務	1,339,800
預り金	256,644
職員預り金	235,734
賞与引当金	15,225,000
固定負債	185,954,052
設備資金借入金	156,778,000
リース債務	2,333,100
退職給付引当金	26,842,952
負債の部合計	240,964,339
純資産の部	
勘定科目	当年度末
基本金	150,825,652
国庫補助金等特別積立金	639,883,607
その他の積立金	575,394,409
建設積立金	9,403,598
次期繰越活動増減差額	718,092,562
(うち当期活動増減差額)	△ 102,248,841
純資産の部合計	2,084,196,230
負債及び純資産の部合計	2,325,160,569

役員名簿

理事・監事

(任期：令和5年6月21日～令和7年定時評議員会終結時まで)

役職	氏名	再任
理事長	木間 幸生	再
理事	中村 雅実	〃
理事	山田 潔	〃
理事	安川与治雄	〃
理事	辻 政輝	〃
理事	柴山 佳樹	〃
理事	加藤 純江	新
監事	林 幹雄	再
監事	伊藤 博司	〃

評議員

(任期：令和3年6月17日～令和7年定時評議員会終結時まで)

役職	氏名
評議員	飯田俊市郎
評議員	石田 光義
評議員	松田 山列
評議員	川端登美子
評議員	朝日 正幸
評議員	伊藤久美男
評議員	山本サチヨ
評議員	川端 寛治
評議員	羽生三千代

春の叙勲、褒章

令和5年春の叙勲で、当法人の萩原光司支援員が、瑞宝双光章を受章いたしました。

社会福祉への長年の功労が称えられました。

（受章の御礼）

よもやま支援員

萩原 光司

この度、思いもよらず叙勲という名誉ある章を受章する事が出来ました事に大変驚いております。それとともに、この様な素晴らしい章を頂きました事を大変嬉しく思っております。また、皆様方に心よりのお祝いを賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。これも、皆様方がこの未熟な私にお力添えを下さり、支えて下さったおかげだと思っております。あらためまして、感謝申し上げます。

苦情解決報告

令和4年度の苦情受付は、大野荘0件・むつみ園1件・よもやま0件・グループホーム0件でした。苦情の内容は、職員の利用者支援について不安を感じたという事で、話し合いにより理解をして頂けました。

これからも日々の支援を振り返り、一人ひとりの立場で考え、職員間で情報共有しながら、よりよい支援を心掛けていきたいと思っております。

大野荘	解決責任者	柴山 佳樹
	受付担当者	貝川 久幸
むつみ園 よもやま	解決責任者	加藤 純江
	受付担当者	安川 裕美
G H	解決責任者	深美 幸代
	受付担当者	安川 裕美

ご寄附 ありがとうございました

匿名希望の方々より、編みかごを頂きました。ありがとうございました。



編集 後記

今年の夏も猛暑日が続き大変でした。疲れを取りたくても夜は寝苦しかったり、疲れが取れず…なんてこともあったのではないのでしょうか。大野福祉会では今年も夏祭りの花火の打ち上げがありました。コロナで思うようにならない日々ですが、この花火が利用者の方の大事な思い出になっています。



カレンダー予定

※例年通りの行事予定を記載してありますが、感染症状況により変更の場合があります。

大野荘	むつみ園
	10月 日帰り旅行
市文化祭作品展 物故者法要	11月 市文化祭作品展 物故者法要
クリスマス会	12月 クリスマス会 よもやまマルシェ
	1月
	2月
昼食パーティー	3月



Instagram
開設しました！

